

第30回 多値論理とその応用研究会について

座長： 淡野 公一（宮崎大学）

目的：

半導体微細化技術の飛躍的な進歩が情報処理・通信システムの目覚ましい性能向上の原動力になってきたが、近年、微細化によるLSI性能向上の限界が次第に現実化しつつあり、それを打破すべく、デバイス・回路からアーキテクチャにおよぶ広い領域で様々な試みが精力的に研究されている。

「0」と「1」だけでは表現できない世界を考察する多値論理の歴史は古く、論理設計に利用されてきたほか、LSIの高速化、小チップ面積化に有効な手法として研究が進められてきたが、テクノロジーの限界が近づきつつある今、それを打破する新たな可能性を秘めた有力な手法の一つとして、多値論理が注目を集めている。例えば、冗長性を含む多値アルゴリズムは、特性変動が大きいデバイスを前提とするナノコンピューティングとの整合性が良く、革新的なナノアーキテクチャの実現につながる可能性がある。

本研究会は、多値論理研究会と共催で、論理学、数学、論理設計、フォールトトレラント、ファジィ、人工知能等の側面から、また、デバイス、回路技術の観点から、多値論理の基礎とその応用について最新の研究成果を発表すると共に、分野の壁を越えた様々な研究者の間で意見交換と討論を行うことを目的としています。

日時： 平成29年1月7日（土） 13:00-17:30, 1月8日（日） 9:30-12:00

会場： 石川県文教会館 402号室 〒920-0918 石川県金沢市尾山町 10-5

<http://www.bunkyo.or.jp/basic/access.html>

会場担当幹事：

富山県立大学工学部 高木 昇

E-mail : takagi@pu-toyama.ac.jp

多値論理研究会のホームページ： <http://mvl.jpn.org/>

応募の資格： 特になし

申し込み・原稿締切日：

講演申し込み締切 平成28年10月14日（金） ※(注：論文公開の承諾について)

原稿締切 平成28年11月25日（金）

※ご講演をお申し込み頂いた時点で、次頁の条件で多値論理研究会が発行する媒体（ウェブ、資料集、CD-ROM、USBメモリ等）での使用・公開にご承諾頂けたものと判断します。

申し込み・原稿送付先：

広島市立大学情報科学部情報工学科 永山 忍

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東 3-4-1

TEL：082-830-1599 FAX：082-830-1568

E-mail : s_naga@hiroshima-cu.ac.jp

主催： ディペンダブルコンピューティング研究会

共催： 多値論理研究会

多値論理研究会における論文の使用・公開の条件：

1. 提出した論文の著作権は、著者に帰属する。
2. 著者は公開の停止を何時でも請求できる。多値論理研究会は、著者の請求後、直ちに公開を停止する。
3. 著者は、提出した論文を、多値論理研究会の承諾を得ることなく、任意の国内外学会論文誌・研究集会資料集に投稿できる。